

今回のIMは第四分区合同例会と位置づけ開催致します。BOX協力もお願いします。(1RC1口)

・(社)県央福祉会より いからしの里、いからし工房合同運動会のご案内

期日 平成15年9月27日(土) 9:30~

会場 いからしの里体育館

・新潟眼球銀行より アイバンクへの募金のお願い

・地区大会に参加していただける方は出席表を回しますのでご記入ください。

11/1(土)、2(日) どちらでも、両日でもかまいませんのでよろしくお願いします

ニコニコボックス： 2日現在累計 239,000円

馬場直次郎君 ボックスに協力して。

今井克義君 BOXに協力。

山崎 勲 君

小林幹扶君 BOXに協力。

堀川正幸君 BOXに協力。

外山晴一君 BOXに協力。

* 8月のコメント賞は齊藤興一会員でした

新世代の為の月間： 「新世代月間に考える」 新世代奉仕委員長 山上茂夫



ガバナー訪問の際、この地域において青少年の為の奉仕活動には積極的に参加してゆきたいと話しましたが、1995年の役員必携(大改訂)では「ローターアクト例会にはロータリアンは参加しなくてよい」とかいてありますが、私はロータリアンは積極的に参加してゆくべきだと考えています。人間は生まれた時から苦勞も始まり、カウントダウンが始まると思うからです。若い人達が次の社会を作ってゆく、その為には職場だけでなく、家庭でも、地域でも、大人達がしっかりしないといけない。子供は大人達の姿を見て成長するからです。

新世代の為の月間とは、毎年9月を青少年活動月間と呼称してきたけれども、'96年-'97年から新世代月間とされています。この期間は特にロータリーの提唱するすべての青少年奉仕活動を、個人として、クラブとして、または地区として積極的に推進し、〔各ロータリアンは青少年の模範〕と言われる様な行動をする様に言われています。個人としては、即ち家庭であり、地域や職場で連携して青少年に奉仕の楽しさを味あわせる事が目的ではないか？と思っています。これ等の活動が重なって行けば、すべての場所でロータリークラブのあるところは、青少年が健全で、曲がった事をしなくなるのではないかと思います。

最近テレビではドッキリする様な事が沢山あります。子供達が本当に正しい事を知らない、これは

子供達が悪いのではない、大人が悪いんだと思います。正しい事を教えていないんだから。子供達は良いことの喜びを知らない、長い目でみて、こうしたいと言う、希望もない子供達が多い様に思われます。それはホンの一部かも知れませんが、メディアを通すと、全てであるかの様に錯覚をしてしまう。社会に恥部と言うのはあります。けれども、それ以上に立派な事をする人達が育っている事も事実です。

ロータリークラブではロータリー財団とか米山奨学金によって、社会で立派なリーダーとして活動している方がいる訳ですが、私達がそれを支えているという誇りを持って活動していれば、立派な健全なクラブになって行く、と私は思っています。

三条にはローターアクト1つしかありませんが、ライラにしろ参加した研修者が職場や地域でどんな行動や活動をしているのか、また会社や地域でどの様に反芻されているのか判らない。ただ良かった／＼だけでは効果は出て来ないと思っています。昨夜、青少年健全育成に長年関わって来た斎藤正さんにアドバイスを頂きました。〔ライラ研修者が帰って来ても研修者同志お互いに交流する機会がないのはどうか?〕との事でした。私は新世代奉仕委員長は、初めてなのでロータリークラブの中の奉仕と思っていました。斎藤さんは若い人達の育成を、クラブを越えて社会的なもの、横糸として考えておられる。流石にと目からウロコ、頭が下がる思いがしました。

わが北クラブの精神は社会奉仕イコール青少年健全育成だと思っておりますので、これからも皆さん1人1人が委員長になったつもりで勉強していただきたい。取り組んで頂きたいと思います。私を含めて生涯学習だと思いますのでよろしくお願い致します。

どうも有り難うございました。

会 員 の 声： 露天風呂巡り 青木 省一

私の露天風呂巡りのパターンは、必ず私の母親と家内を含め4名で行動する事です。又日帰りであり、半径250キロメートル以内が守備範囲であります。

今年に入り1・2ヶ月の間に、巡り回った所は、日本ロマンチック街道の出発点の草津温泉。温泉に入り帰りは浅間山を観ながら軽井沢へ、遊んだ後帰宅。

1週間程し、今度は沼田より金精峠を越え、奥日光から戦場ヶ原へ、男体山を左に見ながら中禅寺湖を過ぎ東照宮へ。陽明門、眠り猫、鳴き龍を見、神殿にお参りし、宇都宮経由、東北自動車道に乗り福島県へ。安達太良山の中腹にある沼尻温泉の露天風呂へ入る。ああ・・・・・・いい・・・・・・気持ち。

夕方6：00出発、三条は蒸し暑く少しでも涼しい所に行こうと決定。妙高高原、池の原温泉へ、風呂に入りゆったり気分していると、外国人2人が入浴しており、日本人よりリラックスしている姿を見て考えさせられました。彼等は狩猟民族で、日本の農耕民族の水との係わりと、違うはずだと。日本には、生まれたときに産湯、亡くなるときに死に水、というように水に関する言葉がいっぱい有る。例えば単純な考えだが、イエスキリストは、馬小屋生まれ、産湯を使ったかどうか私にはわからない。しかし日本は水に恵まれた幸福な国であるが、戦後あまりにも汚れ、このままでは取り返しのつ